

専門家との連携

専門家による学校訪問

埼玉県教育委員会の実践

感染症対策の専門家が学校を訪問し、感染防止対策について確認。より良い対策のための助言・支援をいただき、部活動を中心とした学校生活の感染防止対策の強化を図る。

感染症対策の専門家による学校訪問

～部活動時における感染防止対策に着目して～
第1弾 大宮東高校(令和3年6月11日・金)

- 感染症対策専門家 坂本先生による学校訪問第1弾
- 部活動を中心とした学校の感染防止対策を確認していただきました
- より良い感染防止対策のために、貴重な助言をいただきました

訪問先

坂本先生からのアドバイス

- 部活動の場において、換気は防衛の観点で重要だが、内側の天井は長時間かけておくことが、換気には効果的に入り口を空気にしておくことへの換気の方法である。
- 二酸化炭素濃度測定器を1台用意し、計測することが高い。
- サーキュレーター(入口付近に置くこと効果的)
- トレーニングルームは感染リスクが高い場所なので、要注意。
- 部活動ごとに検温を必ず実施し、利用者の体温を把握し、マシンの稼働の手入れ、手洗いの徹底、部室の消毒、部室の換気を実施する。

【坂本先生の感想】
生徒が感染防止対策の重要性をきちんと見え、主体的に取り組まれている。

感染症対策の専門家による学校訪問

～部活動時における感染防止対策に着目して～
第3弾: 県立鳩ヶ谷高等学校(令和3年6月18日・金)

【坂本先生の感想】

- 学校全体が大変良く整備されていて、清潔感がある。また、この敷地も広くあり、しっかりと換気がなされている。
- 部活動・授業中もとても静かで、生徒が感染対策の重要性を理解して自発的に取り組んでいる様子が見て取れた。
- 学校が熱意を傾けていることが分かった。

部活動の様子(白球で観戦)

【保健管理専門家のアドバイス】

- 部活動の場において、換気は防衛の観点で重要だが、内側の天井は長時間かけておくことが、換気には効果的に入り口を空気にしておくことへの換気の方法である。
- 二酸化炭素濃度測定器を1台用意し、計測することが高い。
- サーキュレーター(入口付近に置くこと効果的)
- トレーニングルームは感染リスクが高い場所なので、要注意。
- 部活動ごとに検温を必ず実施し、利用者の体温を把握し、マシンの稼働の手入れ、手洗いの徹底、部室の消毒、部室の換気を実施する。

【坂本先生の感想】
生徒が感染防止対策の重要性をきちんと見え、主体的に取り組まれている。

専門家と連携した感染症対策

埼玉県教育委員会の実践

学校内で陽性者が発生した際に、拡大防止を目的として、専門家によるオンラインを活用した個別支援「eMAT for School」を実施する。

○対象	● eMAT (electronic Medical Assistance Team) 通称: イーマット 関連性のある複数の陽性者が発生した県立学校 ● 集団感染の兆候が見られる場合 ● 陽性者の接触状況が複雑である場合等 ※原則として、学校からの支援の要請に基づき実施する
○支援内容	● 陽性者の行動履歴や接触状況の把握時における留意点や、学校内の感染予防対策の改善点と対応等について専門家が指導助言する。
○専門家	● 感染症看護専門看護師 (感染管理における高度な専門知識を持つ看護師)
○支援方法	● Zoom 等、テレビ会議システムを利用したオンライン

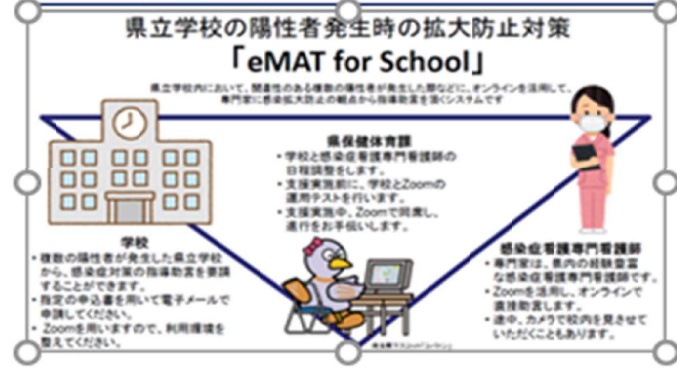
県立学校の陽性者発生時の拡大防止対策「eMAT for School」

1. 目的 ● eMAT (electronic Medical Assistance Team) 通称: イーマット

● ゼルタ数への置き換わりが進む中、児童生徒の陽性者数が増加傾向にあり、学校における感染症対策のより一層の徹底を図ることが重要である。そこで、学校内で陽性者が発生した際に拡大防止を目的として、専門家によるオンラインを活用した個別支援「eMAT for School」を実施する。

2. 実施の概要

① 支援対象	● 関連性のある複数の陽性者が発生した県立学校 ● 集団感染の兆候が見られる ● 陽性者の接触状況が複雑である等 ※原則として、学校からの支援の要請に基づき実施
② 支援(助言)内容	● 陽性者の行動履歴や接触状況の把握時における留意点 ● 学校内の感染予防対策の改善点と対応 等
③ eMATメンバー	● 感染症看護専門看護師 ● 感染管理における高度な専門知識を持つ看護師 (国家医療福祉大学大学院 坂本晴生先生 他)
④ 支援方法	● zoom等、テレビ会議システムを利用したオンライン



専門家との連携

学校の感染症対策改善セミナー

学校等における感染事例の状況(要因として換気不良の指摘があること等)やワクチン接種の状況などを踏まえ、感染症対策の専門家とともに学校を訪問し、感染症対策の改善点を整理・周知することにより、実効性のある対策の強化を図る。

1. 感染症の専門家による学校訪問(教育委員会、保健福祉部、私学担当課との連携)

(活用例)

- ①【視察(60分)】校内(寮・寄宿舎を含む)を巡回し、感染症対策を確認(講師)
- ②【講話・質疑応答(90分)】①を踏まえた感染症対策の改善(講師)
※対象: 学校教職員、教育委員会職員、保健所職員等
※②は、近隣校からの会場参加、zoomによるオンライン参加あり

2. 換気の専門家による学校の換気の検証(教育委員会、私学担当課との連携)

(活用例)

- ①【視察(60分)】校内(寮・寄宿舎を含む)を巡回し、換気状況を確認(講師)
- ②【助言等(20分)】効果的な換気方法について(講師)
- ③ 訪問後、5日間程度、特定の教室の二酸化炭素濃度、温度及び換気方法の記録(機器は専門機関から貸出、自動記録される)(学校)
- ④ 検証結果を踏まえ、専門家が学校に助言(講師)

「感染症対策強化」のポイント

1. 手洗いの徹底

- 教室や廊下など人混みの多い場所では、手洗いを徹底する。
- 手洗いの回数を増やす。
- 手洗いの方法を正しく行う。

2. 換気の徹底

- 教室や廊下など人混みの多い場所では、換気を徹底する。
- 換気の方法を正しく行う。
- 換気扇の清掃を行う。

3. 消毒の徹底

- 教室や廊下など人混みの多い場所では、消毒を徹底する。
- 消毒の方法を正しく行う。
- 消毒剤の効果を高める。

学校と専門家と一緒に考えたリーフレット